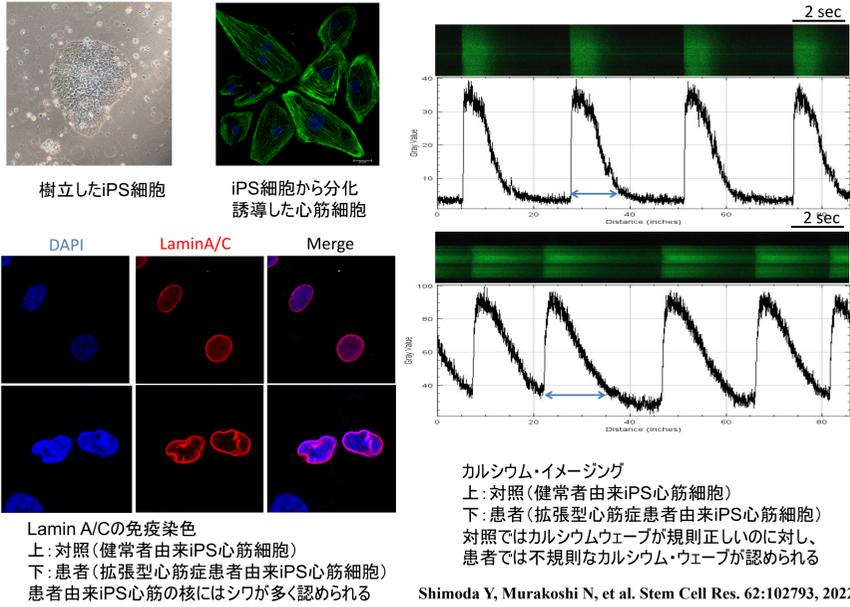


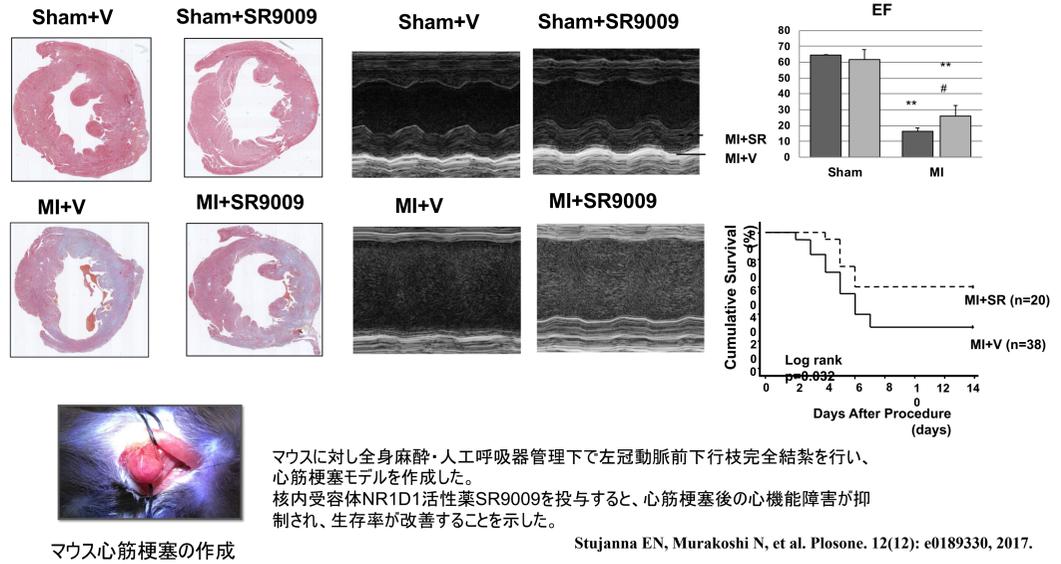
循環器内科 (Department of Cardiology)

研究指導責任教官：村越 伸行

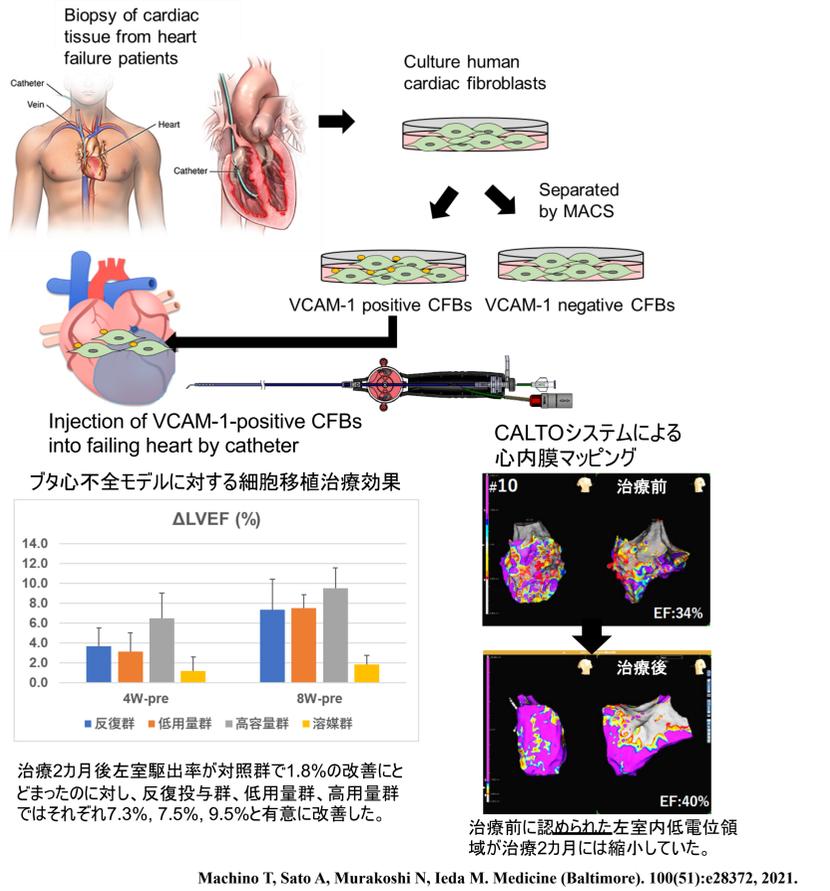
心臓病特異的iPS細胞の樹立とiPS由来心筋細胞の解析



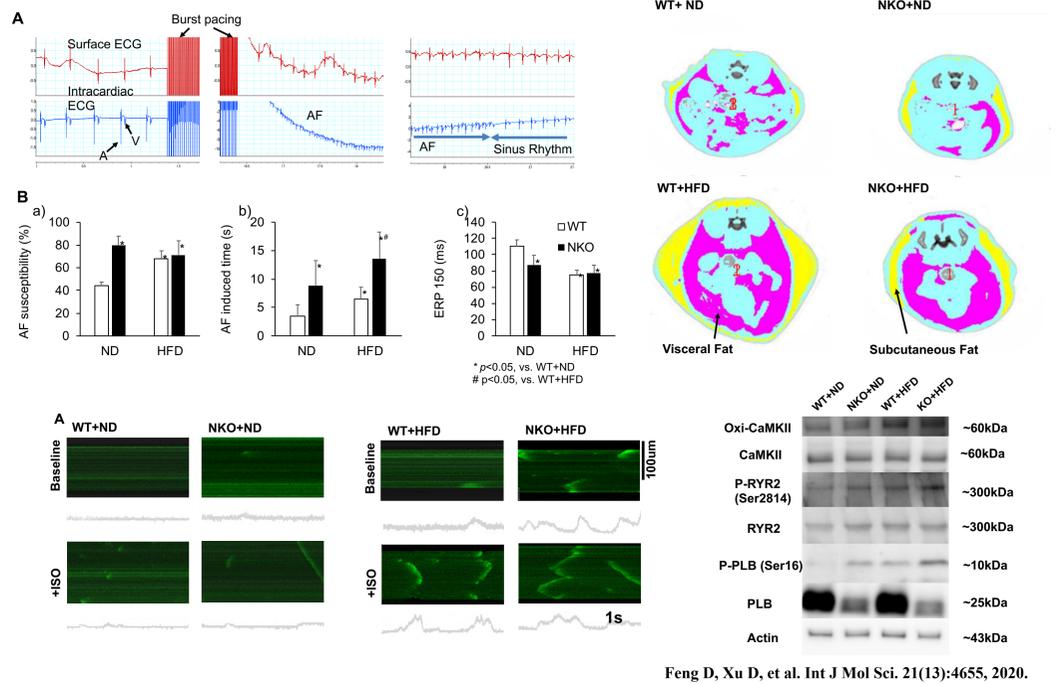
心筋梗塞における炎症の役割の解明と核内受容体を標的とした新治療法の開発



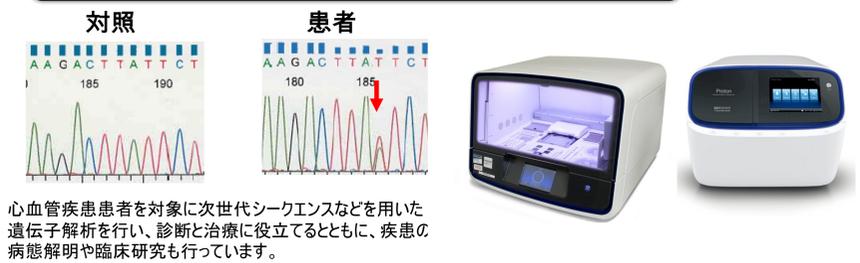
心不全に対する細胞移植治療の開発



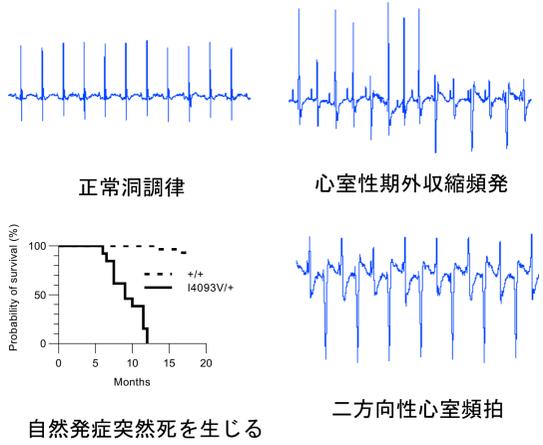
不整脈の機序の解明と新たな治療法の開発



心疾患患者の遺伝子解析



<健康マウス> <心室性不整脈マウス>



大規模ランダム変異マウスライブラリーの心電図スクリーニングにより、遺伝性の致死性不整脈を来し、生後1年以内に心臓突然死する遺伝性不整脈モデルマウスを確立した。遺伝学的解析によりアノジン受容体2 (RyR2) の今までに報告のないミスセンス変異 (p.I4093V) が認められ、単離心筋細胞では異常脱分極電位に合致したCa²⁺振動を示した。

Okabe Y, Murakoshi N, et al. Proc Natl Acad Sci U S A. In press.

- 筑波大学循環器内科では心臓・血管疾患に対する最先端かつ最善の医療を提供できるよう、心筋梗塞、心筋症、心筋炎、不整脈などの心臓血管疾患を血行動態学的、電気生理学的、ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、病態の本質を明らかにするとともに、新たな治療法の開発を目指して研究しています
- 遺伝子改変マウスなどのモデル動物を用いた実験、iPS細胞や心筋細胞などの培養細胞を用いた実験、あるいはゲノム解析など、さまざまなリソースを用いて多角的に研究を進めています。血行動態学的測定や心エコー、PCR法、免疫染色法、FACSなどの様々な研究手法を習得することができます。抄読会や研究会に積極的に参加することによって、研究の楽しさやマインドを知ることができ、また、学会などで研究成果を発表することができます。

♡ 循環器領域や、細胞・動物を用いた病態の研究に興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

村越 伸行(准教授): n.murakoshi@md.tsukuba.ac.jp
許 東洙(准教授): xu_dongzhu@md.tsukuba.ac.jp

現メンバー(2024年4月)
教官 2名
博士課程 4名(留学生)
修士課程 1名
医療学類卒研 1名
技術職員 1名

